

十一月展示館寸描  
百三十団体、一万八千三百四十  
三名！この十一月、第五福竜丸を

### 来館者の 声から

こんにちは、ぼくは社会科見学  
でここに来ました。初めて死の灰  
というものを知りこんなにすごい  
とは思いませんでした。  
今後機会があったら、また見に



来たいです(千葉県市川市立二俣  
小、金沢武志)。

ぼくたちは学芸発表会で水ばく  
のことでしらべにきました。第五  
福竜丸を見て感動しました。写真  
もひさんだった(市川、沢田、藤  
原)。

メダカスイミング・サークルで  
見学にきました。いつまでも保存

見つめた人々。小学校の社会科見  
学が多数をしめ、一足先に師走が  
来た感で説明にでんてこまの月  
だった。船体の修理も追い込み。  
勤労感謝の休日も返上の意気で、  
船尾の解体、船首外板の取替え、  
船室の床・天井・内張板の張り替  
えと三カ所にわかれ厳しい寒さに  
まけじと進行中。いまや船は無数  
の幕で取り囲まれ、痛々しい船体  
がやっとのぞける程度となった。  
そんな中、世界でも指折りの雑  
誌の一つ、ザ・ナショナル・ジオ  
グラフィック・マガジンの専属  
カメラマンが福竜丸を世界に紹介  
したいとワシントンから訪館。新  
しい船体の模型をもって来館した  
元乗組員・大石又七さんと船を撮

をおねがいします(足立区メダカ  
サークル、吉永栄子)。

人類の英知をもって、核兵器を  
なくさなくてはいけない。船員の  
病院生活の手記の中で、人間の研  
究は良い事にも悪い事にも使われ  
るとあったが、そんな悲しい現実  
をうち破っていこう(長野県上伊  
那郡 松田)。

影しつづけた。また、遠くノルウ  
エーのオスロにある北極探検船フ  
ラム号の展示館から、兄弟館のよ  
うな、福竜丸展示館に敬意を表す  
との手紙とパンフレットが届き私  
たちを喜ばせた。

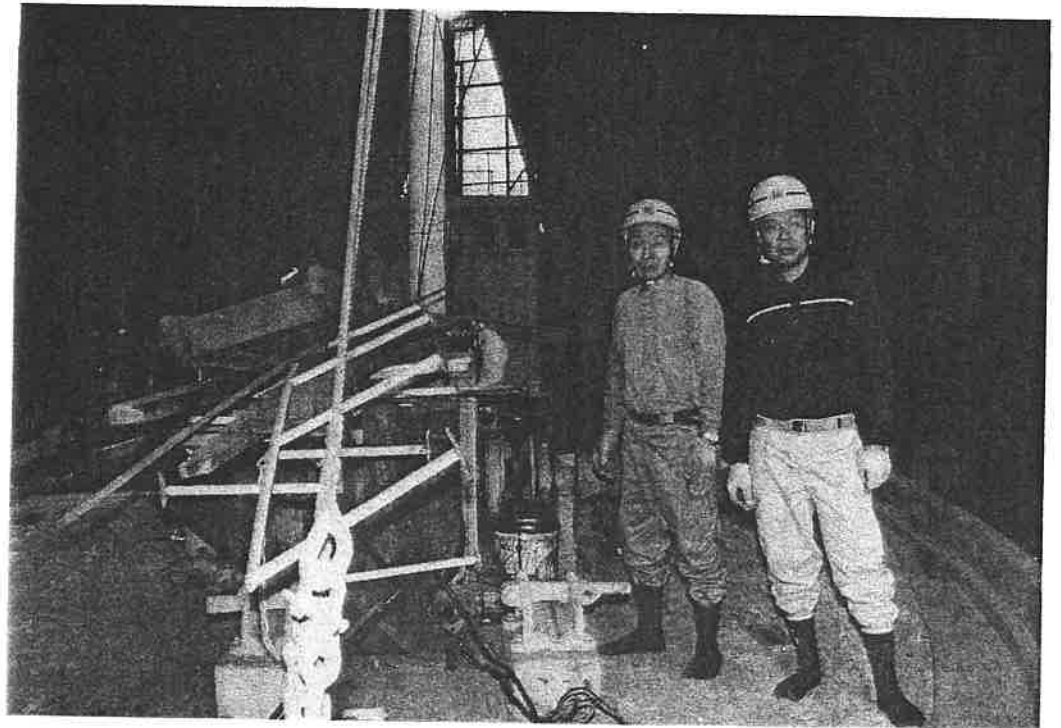
#### カンパ、資料の寄贈続く

十月二九日、昨年に続いて訪れ  
た目黒区のとキワ松学園高校より  
見学後、五七、四七四円のカンパ  
が届けられた。カンパは文化祭の  
収益金で、「今後も第五福竜丸の  
保存にご努力をお願いします」と  
の激励も。また、長岡弘芳氏から  
雑誌「平和」のバックナンバーは  
じめ原水爆問題の文献を、草野信  
男氏からはビキニ事件当時の新聞  
が展示館に寄贈された。

# 福竜丸だより

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2  
都立・第五福竜丸展示館内  
電話 (521) 8494



この一年間、多くの人に見守られ、山崎さん、横川さんをはじめとした落合組の人たちによって工事がすすめられた。

毎朝六時前には川口の自宅を出て展示館  
に一番乗りするのは、工事長の山崎繁さん  
(写真右)。「今の社長は三代目。十年前  
芝の増上寺の山門を扱ってから、文化財の  
仕事を多くするようになった。外回りとい  
うより、内部での仕事なので、礼儀なども  
厳しくいわれている」その落合組の社風は、  
連日の厳しい工事にもあらわれ、釘一本も  
おろそかにせず、見えない部分を手抜き  
なく行なわれる。落合組三十年の大ベテラ  
ン。ヘドロに埋まった福竜丸の引上げも行  
なった。

船大工の横川広さん(写真左)も、十六  
歳の時から修業のため全国を回り、カツオ  
船、サンマ船などあらゆる木造船を作り続  
けた生粋の職人。「船大工にも五ランク位  
あるが、横さんは普通の船大工の五、六人  
の仕事をする」横川さんの今の技術を買  
いたい」と周囲の期待も高い。新しい船を  
作るよりも大へんといながらも、仕事に  
向かう横川さんの表情は自信と木造船への  
愛情にあふれている。

※東京都はじめ、船に思いを寄せる無数の  
人々の願いが実り、被爆から三一年、八五  
年一月から約一億円の予算で第五福竜丸の  
本格的修理が始まった。工期は一年一カ月。  
工事を請け負っているのは、かつてごみの  
海に沈みそうになる福竜丸を陸に引き上げ  
た落合組。来春三月、船は蘇り、新たな航  
海に船出する。

## 編集後記

▼無人島のメジャット島へ移住した  
ロンゲラップ島民を取材した共同  
通信カメラマン新藤健一氏の話  
を伺う機会があった。「若い母親に  
抱かれた生後二カ月の女の子の右  
手指が六本あった。カメラを向け  
ると、まだ目は見えないはずなの  
に、指をピクピクといれんさせ  
る。隠された被害はまだあるので  
はないか」。新藤氏は、移住の模  
様をおさめたビデオの活用を訴え  
ている▼高知県の先生方ですすめ  
ている水爆実験被災調査団がこれ  
までの調査の中間報告として、「ビ  
キニ水爆実験被災実態調査のため  
の資料集(定価千円)」を発行した。  
ご希望の方は展示館まで▼元第五  
福竜丸乗組員増田裕一さんが十一  
月四日、肝臓障害で亡くなりました。  
ご冥福をお祈りしたい(は)。

### 100万人参観者 運動を!

|             |          |
|-------------|----------|
| 85年11月来館者数  | 18,343名  |
| 通算1カ月平均来館者数 | 5,295名   |
| 当月1日平均来館者数  | 705名     |
| 通算来館者数      | 603,713名 |

昭和史を歩く
死の灰




### 南の島で幼児に奇形が

南の島で奇形児が生まれ、原因は放射線によるものと見られる。島田興生氏の調査によると、奇形児は約10人、うち4人が死亡した。原因は放射線によるものと見られる。島田氏は、奇形児の発症は、放射線の影響によるものと見られる。奇形児の発症は、放射線の影響によるものと見られる。奇形児の発症は、放射線の影響によるものと見られる。



【連載】ヒロシマ・ナガサキ被爆四十年の中で(7)  
はつきりしたことを、思いつくまま

草野 信男

日本に対する原爆投下は一九四三年五月五日に決まった。ドイツに対する使用は考えてなかった。原爆使用が日本上陸作戦による米兵数十万あるいは百万の犠牲を救ったという説は誇張である。軍の推定は数万にすぎない(マキジャーニ・ケリー「why Japan」) 早急な原爆投下の目的はソ連に對するものではない。  
長崎への投下はそれ以外の意味は考えられない。軍事的には無意味であった。  
広島への投下は原爆の放射線(生物学的)兵器の面を明らかにした。アメリカはこれを予知しながら、これを一貫してかくそとし、軽視し、ビキニでの海洋、大気汚染の事実を知った後、内地での地上実験で多数の被爆兵士を作り出した。核兵器の増大は地球全体におよぶ被害「核の冬」を予想させるに至った。

◇  
防衛費のGNP一%の枠は間もなく破られる。日本国を守るためではなく「運命共同体」を守るためである。前田寿夫氏の云うように、日本には現実の軍事的脅威は存在しない。子供だけが死ぬ親子心中は御免だ。敵をふやさず味方をふやそう。  
世界のよき友人となることが国を守ることに繋がる。  
国連のWHOは一九六七〜一九七七年に世界中の天然痘を根絶した。その費用はその後二年の患者検索の費用を加えて総計三億ドルと推定されている。その内各国が国連への平常の拠出金以外に特別にこの根絶計画に寄付した金は、七〇〇万ドル、そのベスト・セブンは米国(二六〇万ドル)スウェーデン(一五〇万ドル)ソ連(一三〇万ドル)オランダ(四〇〇万ドル)カナダ(二五〇万ドル)日本(笹川船舶振興会財団一八〇万ドル)デンマーク(一〇〇万ドル)となっている(蟻田功「天然痘根絶」毎日新聞社)。IPP

NW(核戦争防止国際医師会議)のノーベル平和賞受賞に当って、軍事予算の無駄使を痛感する。IDS患者とも深く付合わなければ感染しない。米国との付き合いも程々にしたいものである。

◇  
日本でも「草の根」は予想以上によく育っている。ただ、政治ホビー、組織ホビーが根強い。もう芽を出し茎をのばす時節と思う。風の音におびえることはない。声は大きくても力は弱い。  
被爆四〇年、顔役をならべたお祭りは終わった。さあ仕事だ。  
(第五福竜丸平和協会評議員)

新春たこあげ大会のお知らせ

- 一九八六年一月十五日(成人の日)
- 夢の島公園グラウンド(11時)
- 第五福竜丸展示館集合
- 第五福竜丸平和協会主催
- 東京都後援
- 参加自由、みなさんもぜひどうぞ



六月に展示館開館10周年記念大講演会  
理事会・評議員会開く

十二月二日、学士会館で平和協会第68回理事会と60年度評議員会が開かれた。理事会には全理事が参加、来春の三・一ビキニ事件記念集会の開催、六月の展示館開館10周年記念行事計画など討議。続いて開かれた評議員会は理事・評議員14氏が参加、見学者増大の中迎える10周年記念行事の具体化など意見交換を行なった。理事会の決定の概況は左記のとおり。  
1. 前回議事録・会務報告承認  
2. 昭和60年度会計上半期中間報告承認  
3. 以上略  
3. 当面の活動計画(1) 展示館開設10周年の記念行事として(イ)六月十日の記念日前後に記念講演会・レセプションを開く。講演会は平和と科学に關し學術的なものとし広汎な人々に参加を訴える(ロ)教育関係団体によりかけ展示館見学運動をおこす(ニ)展示館概観など簡便な案内書を作成する(三)福竜丸だより記念号・合本など作る(ホ)記念募金を広く訴える(ヘ)などを柱にする(2)三・一ビキニ事件記念集会を協会主催で二月二十八日東京で開く。以下略。

なにをもって答えるか

太平洋の荒浪のためか、島田興生氏の連載「エナリナ・ビキニ」の第2回原稿が遅れた。十一月中旬、全国の人々は一瞬目を見張ったろう。共同通信社により全国地方紙33紙(約一千万部)に「死の灰」の記事と共にロンゲラップ島民の移住が大きく報道された。六本の指のある二才の赤ちゃんの7段抜きカラー写真!この写真を厳しく撮影した共同通信・新藤健一カメラマンは十一月末第五福竜丸展示館を訪ね、写真を提供すると共に、「死の灰」の恐怖を熱く語った。島田氏は12月号のある雑誌のグラビアでこう問いかける。「全員が離島するという行動で世界に核の後遺症の深刻さをアピールしたロンゲラップの人々の果敢な姿に私たちはいま何をもって答えるのか」

